

取扱マニュアル

TO-STM

スタンダードトレッドミル WOT



マニュアルの内容はあなたのフィットネスライフにとって重要な内容が含まれております。必ずお読みください。

Version 2022.09.02

製品取り扱いについて

お客様各位

このたびは、BoDY LINK 製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
製品の組立に関して以下の事項にご注意ください。

※重要注意事項ですので必ずお読みください。

- お届けいたしました製品に万が一不備および欠品などがあつた場合のご対応は宅急便にて行います。
※部品などのお届けに2~3日ほど日数がかかりますのでご了承ください。
- お届けより1年間を経過した場合はクレーム等をお受け致しかねますのでご注意ください。また、交換・修理に関しましては同封の製品保証書の内容に限ります。
- 組立には危険が伴いますので必ず2人以上で十分注意して組立を行ってください。
- 本商品は付属工具にて組み立てが可能となります。なお、工具の不具合がある場合は無理に使用せずに弊社までご連絡ください。
- 外箱は交換や返品の際に必要となりますので組立が終わるまでは保管してください。
- ご返品の際は、ご返品いただいた製品の状態によりご返金できない場合があります。(梱包や製品の傷の有無などの状態を確認させていただきます。)

製品に関する安全上の警告注意事項

- 本製品は室内専用となります。屋外での使用はおやめください。
- 直射日光のあたる場所に設置した場合、シートなどが変色する場合がございます。
- トレーニング器具の設置は周囲に十分なスペースを確保し危険物や貴重品等を付近から遠ざけ、水平な床に設置し安定していることをご確認ください。
- 使用時には必ず安全クリップを装着してください。
- トレーニング器具は1人用です。同時に2名以上でのご使用はできません。また器具によじ登るなど通常の使用以外での無理なトレーニングは決して行わないでください。
- トレーニング器具は子供やペットにとっては例え使用していない状態であっても非常に危険な物になりますので決して近づけないでください。
- 障がいをお持ちの方のご使用に際しては専門家か医師の付き添いのもとご使用ください。
- めまいや吐き気など身体の調子が良くないような状態が起こった場合は、直ちにトレーニングを中止し専門の医師にご相談ください。
- 本製品を改造、部品の装着をした場合、保証適応外になる場合がございますので製品の改造・部品の装着はおやめください。

組立時のご注意

1. ボルトの締めすぎで変形する場合がございます。
2. 組立は基本仮止めで行っていただきますが途中本締めが必要な箇所がございます。組立説明をよくお読みになって組立を行ってください。
3. センサー線や電気線等の破損には十分注意してください。

ご使用時のご注意

1. トレーニング開始前にストレッチなどの準備運動を行ってください。
2. 使用中はすべての可動部に物や指、頭、髪の毛、四肢を近づけないでください。
3. 本製品にトレーニング以外の強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。
4. トレーニング量及び重量は徐々に増やし、無理なトレーニングはしないでください。怪我等の危険があります。
5. 飲酒後のトレーニングは絶対にしないでください。
6. トレーニング時は必ず運動靴を履き、運動に適した服装でご使用ください。また、可動部に巻き込まれる場合がありますので、紐類の無い服装をして下さい。
7. 時計、ネックレス、ブレスレット等のアクセサリー類は必ず外してご使用下さい。
8. トレーニングは、なるべく食後1~2時間後に行ってください。食後すぐのトレーニング及びトレーニング後30分の食事は控えて下さい。
9. 安全クリップは必ず使用してトレーニングを行ってください。

メンテナンス

1. すべての可動部分の注油は、あなたのマシンにとって最適なパフォーマンスを 発揮します。工場出荷時に若干の部分の最初の注油は工場で行っている場合があります。しかし、ウエイトスタックが絶えず上下するウエイトガイド(21)は ご使用ごとに汚れなどを拭きとり、シリコンまたはテフロンスプレーを塗布されることを推奨します。
※油性の潤滑剤はホコリなどを付着させますのでご使用時は注意して下さい。
2. 交換部品は純正部品で交換してください。
3. トレーニング後はマシンに付いた汗などを綺麗に拭きとってください。汗などの水分が残っていると錆・早期破損の原因となります。
4. ボルトナットはご使用されると緩みが出てくる場合がありますので、ボルトナットは定期的に増し締めしてください。
5. 溶接部分にクラック(裂け目・狭い割れ目)などがいないか点検してください。
6. 定期的保守点検を実行することはご使用者の安全を確保し、機材の破損を軽減しますので必ず実行していただきますようお願いいたします。
7. メンテナンスを行う際、アルコール、中性洗剤等は使用しないでください。

メンテナンスお勧め工具

- ・市販のパーツクリーナー＝古くなった油汚れを落とします。
- ・市販のシリコンスプレー、潤滑油＝摩擦破損を軽減します。
- ・エアブロー＝ 細かい粉クズ等を除去します。
- ・市販錆止めタッチペン＝塗装がはがれた部分に塗ると錆の防止になります。
- ・ウエス(布)＝製品にたまるホコリを拭きとります。

※スプレーの過剰添付には十分ご注意下さい。

以下余白

TABLE OF CONTENTS

ようこそ	3
重要事項	
あなたの安全第一(そして最後)	4
これとあれとあれとは何ですか?	
トレッドミルの概要	9
始める前に	16
あなたのフィットネスの目標は何ですか?	
事前にプログラムされたワークアウト	21
ベルトに潤滑剤を塗布するタイミング	
トレッドミルの一般的なメンテナンス	28
トラブル...何のトラブル?	
一般的な問題の診断と解決	35
部品と組み立て説明書	
Puttin'この悪い男の子と一緒に	36 36

WE LOVE YOU MAN

WELCOME TO THE SRS FAMILY

この度は弊社トレッドミルをご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社のトレッドミルは様々な機能が備わっており
すぐに使用したくなるかもしれませんが本説明書をよく読んでから
ご使用ください。

弊社のトレッドミルには読みやすいボタンがあり、
過度のストレスや負担を最小限に抑えるために人間工学に基づいて配置されていま
す。

エクササイズを存分に楽しんでいただくために、すべてのボタン、
その機能、および配置についてよく理解しておいてください。

さらに、トレッドミルのダッシュボードとコンソールには、
ボトルホルダー、個人用収納エリア、タブレット表示シェルフ、
MP3 充電およびオーディオ・スピーカー・ポートなどの便利な機能が組み込まれてい
ます。

エクササイズの時間を楽しむのに役立つ便利な機能があります。

安全クリップやつながれたセーフティキーなど、
安全対策も万全です。セーフティキーが所定の位置から外れると、マシンは緊急停止
します。

開始する前に、キーのもう一方の端を衣服に取り付けて
ぴったりとフィットする衣服にクリップしてください。いつでも安全第一です！！

可動部品は摩耗する可能性があり、摩耗部品は保証対象外です。

ただし、適切にメンテナンスを実施すれば、
マシンを最高のパフォーマンスで稼働させ、耐用年数を大幅に延ばすことができま
す。

難しいことではないことをお約束します。

ご不明な点がございましたらお電話でお問い合わせいただけます。

これらは、伝えたかったことのほんの一部ですが、
このマニュアルには、さらに多くのことを確認していただく必要があります。
では、このマニュアルを読み進めて、トレッドミルについて理解を深め、
安全で楽しい方法でより良い健康への探求を始めましょう！

IMPORTANT STUFF

YOUR SAFETY FIRST (AND LAST)

トレッドミルを使用するときは、常に次のような基本的な注意事項に従ってください。

- ・ 安全を確保し、ユニットを保護するために、トレッドミルを組み立てて使用する前に、すべての指示をお読みください。

- ・ トレッドミルの適切な使用と安全を確保するために、すべてのユーザーがこのマニュアルを必ず読んでください。

危険— 感電のリスクを軽減するために、

使用後は必ずユニットのプラグを抜いてください。

クリーニングやメンテナンス作業を行う前に、電源からプラグを外してください。

警告-火傷・火災・感電・その他人身事故のリスクを軽減するために、次の予防措置を講じてください。

- ・ 身体に不安がある方や障がいのある方はこのマシンで運動を開始する前に、医師または専門家に相談してください。

- ・ 子供やトレッドミルの操作に慣れていない人がトレッドミルの使用や近くにいることを許可しないでください。

お子様をご使用する場合、トレッドミルから監視者は離れないでください。

- ・ 使用しないとき、お手入れの前、部品の着脱の前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ トレッドミルの組み立てと操作は、しっかりした平らな床で行ってください。

トレッドミルを壁や家具から数 cm 離して設置して下さい。

毎回使用前にユニットをチェックし、すべての留め具（ボルト等）がしっかりと固定されていることを確認してください。

トレッドミルを良好な作動状態に維持してください。

- ・ トレッドミルは、このマニュアルに記載されている用途にのみ使用してください。

弊社が推奨していないアクセサリ・アタッチメントは使用しないでください。けがの原因となります。

- ・ ユニットが損傷している場合、正常に動作していない場合、または水に落とした場合は、ユニットを操作しないでください。

弊社に連絡して指示を求めてください。

- ・ 感電を防ぐため、モーター・電源コード・I/O・スイッチなどのすべての電気部品を液体に近づけないでください。手すり・ディスプレイコンソール・

フードの上には何も置かないでください。液体・雑誌・本を適切な容器に入れます。

- ・ 電源コードを加熱面から離してください。

- ・ 屋外で使用しないでください。

- ・ 安全停止クリップをきつく、緩んでいない衣類に取り付けてください。

(例: ショートパンツ・スウェットパンツ・ポケット・タイトフィットのシャツテールのウエストバンド)。

安全停止クリップは、安全キーにつながれています。

クリップがしっかりと固定されており、運動中に外れないようにしてください。

IMPORTANT STUFF

YOUR SAFETY FIRST (AND LAST)

- ・トレッドミルに乗り降りするときは注意してください。
可能な限り固定手すりを使用してください。
ランニング ベルトが動き始める前 (ワークアウトの前) に
足を左右のプラットフォームに足をしっかりと置きます。
速度が 1 mph (1.6 kph) 以下の場合、ランニング ベルトに乗ります。
- ・トレッドミルの操作中は、通気口を塞がないでください。
通気口を清潔に保ち、糸くず、髪の毛、または空気の自由な流れを妨げる可能性のあるものがないようにしてください。開口部に物を落としたり、差し込んだりしないでください。
- ・トレーニング中は、適切な運動用の服と靴を着用してください。
ゆるい服は避けてください。長髪の方は髪を後ろで結びご使用ください。
タオルなどをご使用の場合走行面から離して保管し巻き込まないようにご注意ください。
- 走行中のベルトは、ベルトやローラーに物が挟まってもすぐには止まりません。
- ・ユニットを揺らさないでください。ディスプレイ
コンソールまたはカバーの上に立たないでください。
- ・無理をしたり、疲れ果てるまで使用しないでください。
痛みや異常を感じた場合は、トレーニングを中止し、医師にご相談ください。
- ・このトレッドミルの最大体重は170kgです。
- ・機器の損傷や摩耗を定期的に検査して初めて、機器の安全レベルを維持できます。
- ・不適切または過度のトレーニングにより、健康被害が生じる場合があります。
- ・警告！心拍数モニタリング システムは不正確な場合があります。
- 過度の運動は、重傷または死亡につながる可能性があります。
気分が悪くなった場合は、すぐに運動を中止してください。
- ・ペットはトレッドミルに近づかないようにし、使用中はトレッドミルから離してください。
- ・本製品をペットの運動に使用しないでください。
- ・こちらのマシンは1人用です。2人以上でのご使用は絶対にしないでください。
- ・電気回路を他の家庭用機器で過負荷にしないでください。
- ・トレッドミルを改造したり分解したりしないでください。
- ご不明な点がございましたら、弊社にお電話ください。
- ・エクササイズ中は常に手すりとサイド デッキ レールを使用して体を安定させてください。
- ・マシンを離れる前に、走行ベルトが停止していることを確認してください。
- ・負荷がかかっているときの騒音放出は、負荷がないときよりも高くなります。
- ・騒音放射測定: 65 dB(A)。この試験データは EN957-6 規格に準拠しています。

IMPORTANT STUFF

YOUR SAFETY FIRST (AND LAST)

電源差し込み手順

スタンダードトレッドミルはアース線必要があります。
誤動作または故障した場合、アース線により電流の抵抗が最小になり、感電のリスクが軽減されます。スタンダードトレッドミルには、機器接地導体とアースプラグを備えた電源コードが装備されています。
※ロットによりアース線と2口コンセントの場合がございます。
プラグは、適切に設置され、すべての地域の条例および条例に従って接地された適切なコンセントに挿入する必要があります。

警告！

1. この器具は、8歳以下のお子様、および身体的、感覚的、または精神的能力が低下している、または経験や知識が不足している方のご使用の場合、保護者の監督下で使用することができます。子供は本製品で遊ばないでください。清掃およびユーザーメンテナンスは、保護者もしくは大人の方が行ってください。
2. 使用中のトレッドミル周りは、できるだけスペースを空けて安全区域を確保してください。

危険！

機器のアース線を正しく接続しないと、感電の危険があります。
トレッドミルが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は、有資格の電気技師またはサービス担当者に確認してください。
トレッドミルに付属のプラグを改造しないでください。
コンセントに合わない場合は、資格のある技術者に適切なコンセントを取り付けてもらってください。
接地＝アース線を取り付け電子機器と地球を電氣的につなげること



カバーを外す際は必ずコンセントを外してから行ってください。
関電の危険がございます。

ウォーミングアップ & クールダウン

ウォーミングアップはトレーニングの重要な項目です。筋肉を温めて伸ばすことで、より激しい運動に備えて体を準備するために、すべてのセッションを推奨させていただいております。トレーニング後はクールダウンを行い、これらのエクササイズを繰り返して、筋肉痛や疲労を軽減します。次のウォームアップとクールダウンをお勧めします。

ヘッド・ロール



頭を回転させ首筋を伸ばします。
1 秒間左右どちらかに傾け、首の片側が伸びるのを感じてから、頭を 1 秒間後ろに回転させ、あごを天井に伸ばして口を開きます。
1 秒間頭を左に回転させてから、1 秒間頭を下に傾けます。
3 往復程度

ショルダーリフト



右肩を耳に向けて 1 回上げます。次に、右肩を下げながら、左肩を 1 回上げます。
10 往復程度

サイドストレッチ



腕を横に開き、頭の上まで持ち上げます。1 秒の間、右腕を天井に向かってできるだけ遠くまで伸ばします。左腕でこの動作を繰り返します。
10 往復程度

大腿四頭筋ストレッチ



片手を壁につけてバランスを取り、後ろに手を伸ばして右足を引き上げます。かかとをできるだけお尻に近づけます。
15 秒保持し、左足で繰り返します。
各 5 回程度

内もものストレッチ



足の裏を合わせ、膝を外側に向けて座ります。足をできるだけ股間に近づけます。ゆっくりと膝を床に向けて押します。15 秒程保持します。
3 セット程度

つま先タッチ



腰からゆっくりと前屈し、つま先に向かってストレッチしながら背中と肩をリラックスさせます。思いっきり手を伸ばして 15 秒程保持します。
3 セット程度

ハムストリングスのストレッチ



右足を伸ばします。左足の裏を右の内腿に当て、つま先に向かってできるだけ伸ばします。15 秒程保持します。リラックスしてから、左足で繰り返します。
3 セット程度

脛脛とアキレスのストレッチ



左足を右足の前に置き、腕を前にして壁にもたれ、右足をまっすぐに保ち、左足を床に置きます。次に、左足を曲げ、腰を壁に向かって動かして前かがみになります。保持し、反対側で 15 秒程繰り返します。
3 セット程度

IMPORTANT STUFF

YOUR SAFETY FIRST (AND LAST)

安全停止クリップと安全キー

つながれた安全停止クリップは「緊急リップコード」となります。

クリップがテザーを引っ張ると、テザーが安全キーを引き抜き

トレッドミル ベルトが停止します。基本的に、足場を失って転倒し始めると

ベルトが(「リップコード」を介して)停止し、重大な怪我の可能性が大幅に減少します。

※停止は緩やかに止まります。すぐに停止はしませんので予めご了承ください。



ステップ 1: トレッドミル ベルトに乗り、セーフティ ストップ クリップを衣服のきつい部分 (ショーツやスウェットパンツのウエスト バンドなど) に取り付けてください。

注: 安全停止クリップが固定されており、エクササイズ中衣服から脱落しないことを確認してください。

ステップ 2: コンソールにセーフティキーを取り付けます (コンソールの前面にあるキー スロット付きの小さな黄色の長方形の穴)。

ステップ 3: 安全停止クリップと安全キーを適切に配置して固定すると、エクササイズを安全に開始する準備が整います。

※安全キーが刺さっていない状態ですとトレッドミルは機能しません。

他の方(来客者や小さなお子様)に勝手に使用されないように別で保管していただくと安全です。

警告:

トレッドミルを使用する前に、安全停止クリップを毎回テストを行ってください。

ベルトに乗らずにベルトを起動して安全クリップを外して停止すれば正常です。

WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

AN OVERVIEW OF YOUR TREADMILL



注意: トレッドミルを使用する前に、安全停止機構が適切に機能しているかテストしてください。テスト方法はトレッドミルを無人で動作を開始し、安全クリップをブラケットから引き抜き、トレッドミルが完全に停止することを確認することで行うことが可能です。

※安全クリップとキー マグネットをトレッドミルとは別の安全な場所に保管し、トレッドミルを第三者（未成年者）に無断で使用できないよう保護することができます。

WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

トレッドミルの概要

ダッシュボードとコンソール



WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

トレッドミル概要

THE LCD DISPLAY

これは単にトレッドミルのデータ表示センターです。すべてのアイコンと機能がそこにあります。現在のワークアウトとワークアウトの概要情報を提供します。各種液晶で構成されています。ドットおよび LCD セグメント マトリックス。

センター カラム マトリックスは、現在の速度または傾斜のレベルを示します。

(プロフィールと呼ばれます)。あなたが現在運動している列とレベルは、点滅し、次のセグメントに移動すると点滅が止まります (運動の時間単位)。

たとえば、20 列あるので、各列は 20 分間のエクササイズ ルーティーンでは 1 分になります。表示ボタンを押すと、速度と傾斜レベルを切り替えることができます。の

現在表示されているプロフィール レベルの単語 Speed または Incline が点灯します。

画面に表示されるので、表示しているカテゴリまたはデータ ポイントがわかります。



WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

トレッドミルの概要

LCD DISPLAY

CAL

ワークアウト中の総消費カロリー (推定のみ)。

TIME

ワークアウトの合計時間 (分と秒)。

SPEED

時速マイルまたはキロメートルでの現在のペース。

DIST

マイルまたはキロメートル単位の移動距離。

PULSE

心拍数 (推定のみ)。

チェストバンドまたはグリップパルス手すりの握り方。

INCLINE

現在のデッキの傾斜または傾斜レベル。

Max is 15% Slope (8.53%)

USB

ワークアウトデータ用のメモリースティックの挿入、録音

KM and MILE

メートル単位または英単位を示す。

トレーニング前に調整できます。

ワークアウトの前に設定できます。

LCD Column Segments

スピードと傾斜のどちらかのレベルを表示します (表示ボタンで切り替え)。

This area will also

プリロードされたいずれかの進行状況をプレビューして確認できます。 (Hill など)

HR/TR (Heart Rate/Target Rate)

点灯しているフューザーは、HRC1 または HRC&のどちらかを選択しています。

HRC& プログラム

1128 582



LUBE

潤滑油の交換時期(200km または 120 マイル)に達したことを示します。

Segment LCD

表示するために使用される複数の LCD セグメントの最下行
運動前、運動中、運動後にさまざまなメッセージを表示 致
ワークアウト

WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

トレッドミルの概要



DEVICE PORTS

TS-770 シリーズ トレッドミルには、ダッシュボード下のパーソナルトレイに 2 つのデバイス ポートがあります。

Audio Input Jack

デバイス (MP3 プレーヤー・iPod・iPad) を接続するとオーディオを聞くことができます。双方向オーディオケーブルが付属しています。

USB Port

機器を充電する USB 対応機器 (別売) の充電に使用します。

注: デバイスの「充電中」アイコンは、特定のデバイスが充電に必要なとする電流量によって、表示される場合とされない場合があります。

表示されていない場合でも充電中ですが、充電速度が遅い可能性があります。

ワークアウト データのダウンロード: USB 対応のメモリ デバイス (別売り) を挿入して、ワークアウトデータを記録し、パーソナルトラッキングができます。

注: お使いのデバイスとマシンのオーディオテザーおよび USB 充電/データポートとの互換性は、ブランドとモデルによって異なります。

ほとんどのデバイスに対応しています。ダッシュボードスピーカーでオーディオを聴く場合、意図しない干渉やフィードバックが視聴を妨げる可能性がございますので、充電機能を制限することをお勧めします。

WHAT IS THIS, AND THAT, AND THOSE?

トレッドミルの概要

HOW TO USE YOUR GRIP PULSE HANDRAILS

非常に簡単な操作で測定することができます。

両方の手すりをしっかりと握って保持するだけです。脈拍の読み取り値は、ダッシュボードの脈拍セグメント (一番上の行、右端) に 1 分あたりの拍数で表示されます。本数値は、あくまでも目安であり、実際の速度やグリップ握り方により測定値が変わることがあります。表示される脈拍数は、ワークアウト時の心拍数の目安です。



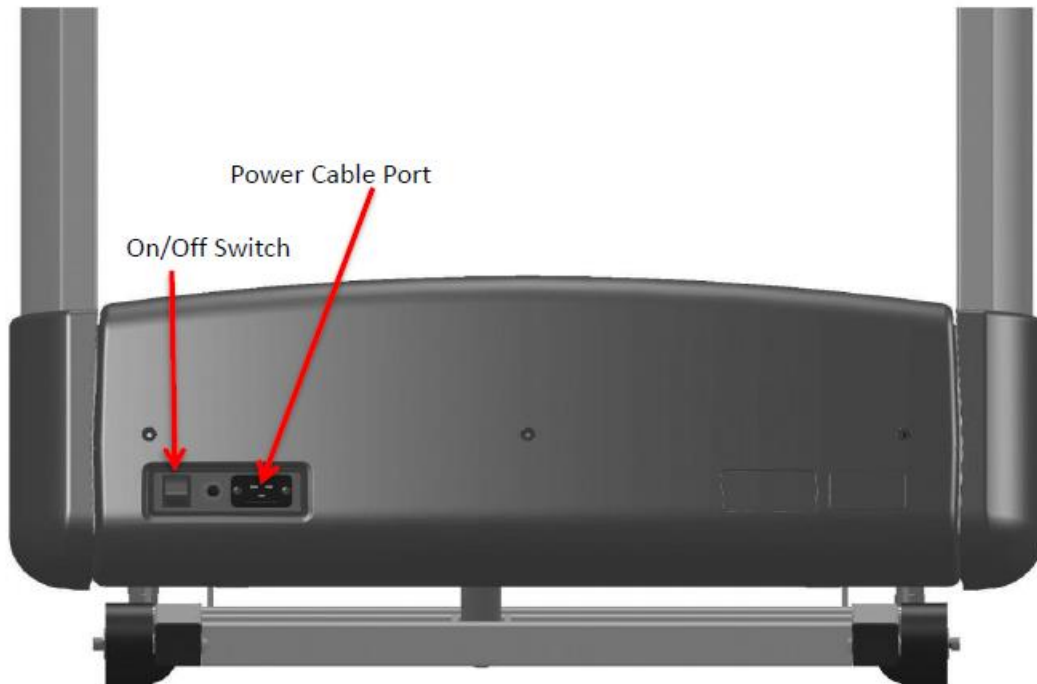
LET'S GET YOU STARTED

知っておくべきこと

トレッドミルの電源を入れる

トレッドミル前面に取り付けられている電源ケーブルを見つけ、コンセントに差し込みます。電源ケーブルポートのすぐ横にある電源スイッチをオンにします。

注: トレッドミルを「起動」して運動できるようにするには、安全停止クリップにつながれた安全キーをコンソールの前面に挿入する必要があります。 8 ページをご覧ください。



警告: この製品は公称電圧 110 V 回路で使用するためのもので、アースプラグがスケッチ A に示されているプラグのように見えます。製品がコンセントに接続されていることを確認してください。プラグと同じ構成です。この製品ではアダプターを使用しないでください。

LET'S GET YOU STARTED

知っておくべきこと

クイックスタート

TTD-760A シリーズトレッドミルを始動する前に、トレッドミルが起動していること、およびセーフティキーが所定の位置にあることを確認してください。7 ページに記載されているように、セーフティストップクリップを自分自身に取り付けてください。



注：プログラムを選択する前にメートル法または英語の単位（キロメートルまたはマイル）を選択するには、「Enter」キーを押したままにしてください。単位が表示されます。Speed Up/Down ボタンで単位を選び、Enter を押し決定します。



ステップ1：トレッドミルのベルトまたはデッキのサイドレールの上に立った状態でクイックスタートボタンを押すとゆっくりとベルトが動き始めます。



ステップ2：ダッシュボードボタン、手すりボタン、またはコンソールのクイックスピードボタン（レベル2-10）、クイックインクラインボタン（レベル1-12）で傾斜と速度の両方を増減できます。



ステップ3：トレッドミルのモーターとベルトの動きを止めるには、STOP/CANCEL ボタンを押すか、安全キーをコンソールから引き抜きます。

LET'S GET YOU STARTED

知っておくべきこと

一時停止/停止/リセット機能

赤い STOP/CANCEL ボタンを 1 回押すことで、一時停止モードにすることができます。これにより、走行ベルトはゆっくりと減速して停止します。傾斜が 0% (最低レベル) になります。トレッドミルが一時停止している間、「時間」、「距離」、「カロリー」の各表示は保持されます。3 分後、ディスプレイは起動画面に戻り、すべての値がゼロになります。ワークアウトを再開するには、3 分の制限時間前にクイックスタートボタンを押します。

「Speed」と「Incline」は、設定前に戻ります。

代わりに STOP/CANCEL ボタンをもう一度押すと、プログラムとワークアウトが終了し、ワークアウトの概要データが表示されます。

STOP/CANCEL ボタンを 3 回押すと、起動画面に戻ります。

STOP/CANCEL ボタンを 3 秒以上長押しすると、アイドルモードに戻ります。

注:SRSトレッドミルにはパワーセーブモードがあり、5 分間使用しないと自動的に電源が切れます。

LET'S GET YOU STARTED

知っておくべきこと



傾斜と速度機能

傾斜と速度はランニングベルトが動き出したら、いつでも調整できます。

ダッシュボードまたは手すりにある「INCLINE」または「SPEED」ボタンを押し続けると、一定の上昇または下降をすることができます。またコンソールの QUICK KEYS で、より早く上下させることもできます。傾斜はレベル 1～10、速度はレベル 2～10 まであります。

注: 傾斜レベルキーは、使用可能な最大傾斜の 100%を示します。スピードレベルクイックキーは、実際の速度レベルに対応しています。SPEED のレベル 12QUICK KEYS は、所有しているモデルによって異なります。所有しているモデルによっては、SPEED ボタンを使用して高速化できる場合もあります。



メッセージ ウィンドウに変更内容が表示され、傾斜と速度レベルが LCD ディスプレイの上部に表示されます。

LET'S GET YOU STARTED

知っておくべきこと

トレッドミルの電源を切る

液晶ディスプレイは、一時停止/停止/停止モードで5分経過すると自動的に省電力モードに切り替わります。また、セーフティキーを取り外し、5分後に省電力モードにします。

トレッドミル前面にある主電源スイッチをオフにすると、すべての電源が完全に切れます。

長時間(数日または数週間)使用しない場合は、必ず電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜くことをお勧めします。

警告:

高さ 2200mm、幅 3000mm、長さ 5200mm 以上のフリーエリアが必要です。

フリーエリアには、緊急降車エリアも含まれている必要があります。機器が互いに隣接して配置されている場合、空き領域の値を共有することができます。高さ 2200mm、幅 1800mm、長さ 4000mm のトレーニングエリアも必要です。

以下、図をご参照ください。

フリー
エリア



トレーニング
エリア



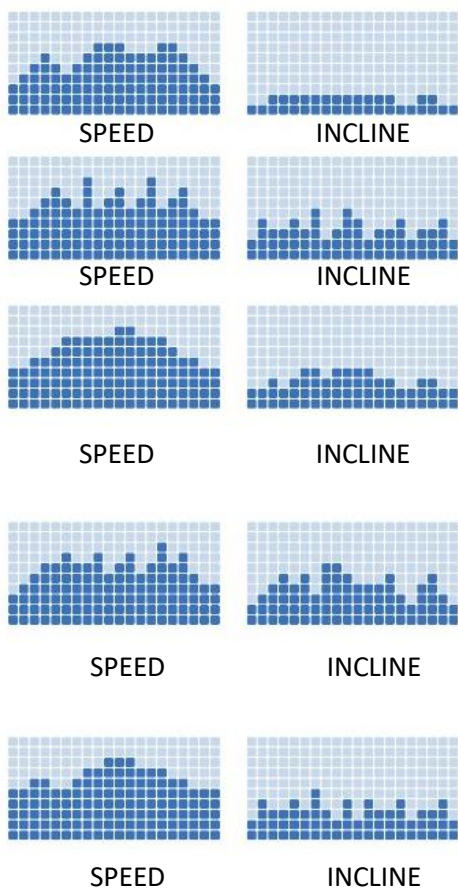
WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

プログラム済みワークアウト

組み込みプログラム

TTD-760Aトレッドミルには、マニュアルプログラム、5種類のワークアウトルーティン、2種類のユーザー定義プログラム(USER1、USER2)、2種類の心拍プログラム(HRC1-60%、HRC2-80%)を含む、10種類のプログラムが内蔵されています。

事前に設定されたフィットネスプログラムを使用し、速度と傾斜を調整し、目標に合わせたワークアウトプロフィールを作成します。



Climb(登る): その名の通り、坂道を登ったり降りたりする運動です。これは全体的な筋力と持久力を高める運動です。

Aerobic(エアロビック):

心筋を鍛え血流と肺活量をアップさせる能力を高めます。運動量と時間によって変化します。

Slim(スリム): その名が示すように、このワークアウトは燃焼速度を最大化するように設計されています。ステディ・エディがこのコースです。心拍数を60~70%に保つようにしてください。

Train(訓練): この運動では、高負荷と低負荷の間を行ったり来たりすることで一気に酸素を消費するので、より高い持久力を得ることができます。この運動は、心肺を効率よく動かすのに最適な運動です。

Build(作る): 下半身を強化するルーティンです。

負荷は増加し、高い運動量を維持することができます。正しく行うことで、脚と大臀筋に感じるはずですよ。

警告! 心拍数モニターは不正確な場合があります。

過度の運動、重大な怪我や死亡につながる可能性があります。

気分が悪くなったら、すぐに運動を中止してください。

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

プログラム済みワークアウト

マニュアルと5つのプリセットプログラムの選択と使用方法

より正確な消費カロリーを確認するために、年齢と体重を入力することをお勧めします。消費カロリーの目安になります。表示される消費カロリーはあくまで目安です。



Step 1: 実行するプログラムを選択するには、ダッシュボード上のダッシュボードの LCD ディスプレイの左右にあるプログラムボタンを押して、実行したいプログラムを選択します。マニュアルモードは、2通りの操作ができることを忘れないでください。

- 1) ターゲットなし(従来の手動モード)
- 2) with targets (by following screen prompts you can select



Step 2: ENTER を押して、個人データを入力します。SPEED UP/DOWN ボタンを使用して、年齢・体重・トレーニング時間を調整します。各データポイントの後に ENTER を押して、希望の値を入力します。



Step 3: すべてのデータを入力したら、QUICK START ボタンを押して、開始します。

注:ワークアウト中は、いつでもスピードと傾斜を調整することができます。

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

事前にプログラムされたトレーニング

カスタムユーザー プロファイルプログラムの選択(ユーザ 1・ユーザ 2)

これらのプログラムでは、個人データを記録し、独自のワークアウト プロファイルを作成できます。



Step 1: ユーザ 1 またはユーザ 2 のいずれかのボタンを押し、ENTER キーを押します。



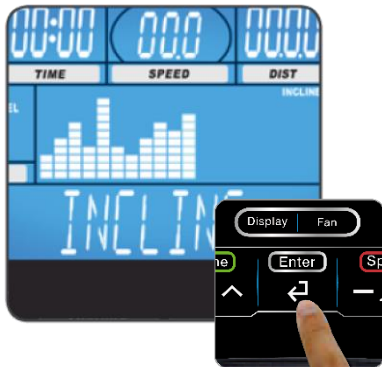
Step 2: SPEED UP/DOWN ボタンで年齢・体重・運動時間を調整します。各データポイントの後に ENTER を押して、希望の値を入力します。



Step 3: ワークアウト プロファイルを設定するにはワークアウトのレベルが中央に表示されている状態で ENTER を押してモニターをスピードモードにします。プログラムする最初の列は、点滅している一番左の列です。SPEED UP/DOWN を調節して、速度レベルを設定します。ENTER を押して、次の列に移動し、必要に応じて新しい速度を入力します。すべての列がプログラムされるまで続けます。

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

事前にプログラムされたトレーニング



Step 4: ENTER を押して、インクラインモードにします。
ステップ 3 を繰り返して、傾斜プロファイルを作成します。SPEED UP/DOWN ボタン。



Step 5: QUICK START ボタンを押すと、カスタムデザインされたプログラムが開始されます。



注意: トレーニング中に DISPLAY ボタンを押すと
スピードまたは傾斜プロファイルを表示します。
また、トレーニングのレベル(スピード、傾斜)を調整することもできます。

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

事前にプログラムされたトレーニング

心拍数プログラムの選択 (HRC1 および HRC2)

心拍数プログラムは、ワイヤレスチェストバンドと共に使用します。

これらのプログラムでは、グリップパルス手すりを使用しないでください。

このプログラムを有効にするには、パルスレートが強く安定した信号である必要があります。ワイヤレスチェストバンド(14 ページ)をご参照ください。

HRC1 プログラムの心拍数の初期値は最大心拍数の 60%、HRC2 プログラムは 80%です。プログラムステップで入力した年齢に基づいてプログラムによって計算されます。

必要に応じてより高い値またはより低い値を選択できますが、基本的な計算方法です。

220 - 自分の年齢(MHR) × 0.60(または 0.80)

例えば もしあなたが 45 歳で HRC1 を選択した場合、計算は次のようになります。

$$(220-45) \times .6 = 105 \text{ 拍/分}$$

注:HRC プログラムに年齢を入力すると、プログラムは 60%と 80%の目標心拍数(HRC1 と HRC2 を計算します。ただし、運動療法に適した心拍数の目標値については、運動プログラムに参加する前に、必ず医師に相談することをお勧めします。

どれが自分に合っている？

HRC1 (MHR の 60%) は、脂肪の減少を目的とした中程度の心拍数のトレーニングです。

HRC2 (MHR の 80%) は、より高い心拍数のトレーニングで、心血管系機能の改善を目指します。



Step 1: HRC1 または HRC2 ボタンを押した後、ENTER を押し、プロンプトに従って個人情報を入力します。SPEEDUP/DOWN ボタンで、年齢・体重・時間を調整します。各データポイントの後に ENTER を押し



Heart rate (Beats per Minute)	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	
170											Performance
160											Aerobic
120											Weight Loss
117											
114											
111											
108											
105											
102											
99											
96											
93											
Age	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	

※This heart rate formula recommended by American Heart Association.

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

事前にプログラムされたトレーニング



Step 2:最後のプロンプトでは、目標心拍数(デフォルトでは 60%または 80%)を設定することができます。

心拍数(デフォルトは最大心拍数の 60%または 80%)を設定します。

目標心拍数は、入力した年齢に基づいて設定されます。

ただし、目標心拍数を別の値に調整することもできます。この操作は

SPEED UP/DOWN を押しながら ENTER を押す。



Step 3:次に、トレーニング時間を入力する画面が表示されます。

SPEED UP/DOWN ボタンで時間を設定します。

その後、QUICKSTART を押して、ルーティーンを開始します。

注:これら 2 つの HRC プログラムでは、トレッドミルは着実にスピードを調整します。心拍数が目標値に達するまで、トレッドミルの速度機能を調整し、心拍数を増加させます。

これには時間がかかる場合があります。体力レベルにより異なります。例えば、かなり体力のある人は、目標心拍数に到達するまでに時間がかかることがあります。

トレーニング中、いつでもフィットネスレベルに応じた速度と傾斜を手動で調整できます。

もしエクササイズに圧倒された場合は、STOP/CANCEL を押して、プログラムを再検討してから再スタートしてください。運動療法に参加する前に、必ず医師に相談することをお勧めします。

WHAT'S YOUR FITNESS GOAL?

事前にプログラムされたトレーニング

ワークアウトデータの記録/保存(USB)

SRS フィットネスマシンでは、トレーニングデータを USB メモリースティックに記録することができます。データを記録すると、お使いのデバイスに CSV ファイルで保存され、Excel のスプレッドシートで簡単に見えることができます。このデータは、一部のオンライントレーニングサイトで共有され、より多くのデータを使用できるようになります。



Step 1: メモリースティックをワークアウト前に USB ポートに挿入してください。USB ポートは、コンソールのパーソナルストレージトレイの右側にあります(USB アイコンが表示されています)。挿入されると、USB アイコンが点滅し液晶モニターに表示されます。



Step 2: ENTER を押し、SPEED UP/DOWN ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定します。

Step 3: QUICK START を押して、トレーニングを開始します。トレーニングの開始とともに、データが記録されます。



Step 4: ワークアウト終了後、トレッドミルの電源を切る前に USB ポートからフラッシュメモリーを取り出します。

トレーニングデータが保存されます。

現在の日付・トレーニング時間・距離・消費カロリー・最大・平均脈拍(心拍数)など、トレーニングのデータが保存されます。

注：USB ポートからフラッシュドライブを取り出す前にトレッドミルの電源を切ると、データは失われます。

トレッドミルの性能を最大限に引き出すために、いくつかのメンテナンス項目をご紹介します。

注:USB はオプション製品です。

トレッドミルの足の調整(レベリング)

トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

床面が水平でない、または均一でない場合があります。

そのため、設置されたら、時間をかけて安定性を確認してください。

必要に応じて、トレッドミルの下にあるスタビライザーを時計回りまたは反時計回りに回し、マシンを下げたり上げたりして、高さを調節します。

ここで目指すのは、ルームランナーが床の上で揺れないことです。

床やルームランナーに無理な負担がかからないよう、水平に安定させることです。



トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

ベルトの張り具合と調整

トレッドミルはベルトの張りとアライメントが工場出荷時に設定されていますが、時間の経過と通常の摩耗により、ベルトの張りがなくなったり、わずかにずれたりすることがあります。（ベルトの端が左側または右側のレールに近くなるなど）

必要に応じて以下の手順で調整してください。

張力

ベルトの張力調整は、ステップに伴ってベルトがたるんだり、滑ったりする場合のみ必要です。ベルトの滑りを解消するためにベルトに張りを加える必要がある場合は、リアローラー（トレッドミルの端に近いローラー）で張りを調整します。

トレッドミルの両サイド、サイドレールエンドキャップに調整ネジが1つずつあります。

調整は、ランニングベルト近くの小さな穴からネジを回して行います。

調整ネジを左右とも時計回りに1/4回転させます。そして、滑りがないか再確認してください。

ベルトの位置がずれないように、必ず両端を同じ量、均等に調整してください。適切な張りにするには、あまり調整する必要はありません。ベルトを締め付けすぎないでください。



リアローラーアジャストスクリュー

（ランニングベルトスクリューの近くにありますが）

トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

アライメント (位置合わせ)

トレッドミルのベルトとその組み合わせ部品は、使用中にほぼ中心の位置合わせを維持するように設計されていますが、ランニングスタイルの違いや人の歩行によってベルトが左右にわずかにずれるのは普通のことです。しかし、ベルトの位置が大きすぎて、サイドレールに擦れたり、摩耗が早まったりするようであれば、調整が必要です。

トラッキングアライメントの調整は、トレッドミル背面のサイドレールの端にあるランニングベルトに近い左側の穴の調整ネジで行ってください。ベルトスピードを 3mph に設定し、スクリューの微調整を行う準備をします。わずかな調整でトラッキングが劇的に変化することを忘れないでください。

ベルトが左側レールに寄りすぎている場合は、左側(ランニングベルトスクリューに近い方)の調整スクリューを右に 1/4 回転(時計回り)させてください。ベルトを数回フル回転させ、そのトラッキングを確認します。調整が必要な場合は、ベルトができるだけ中心に近づくまで、さらにネジを小さく回します。

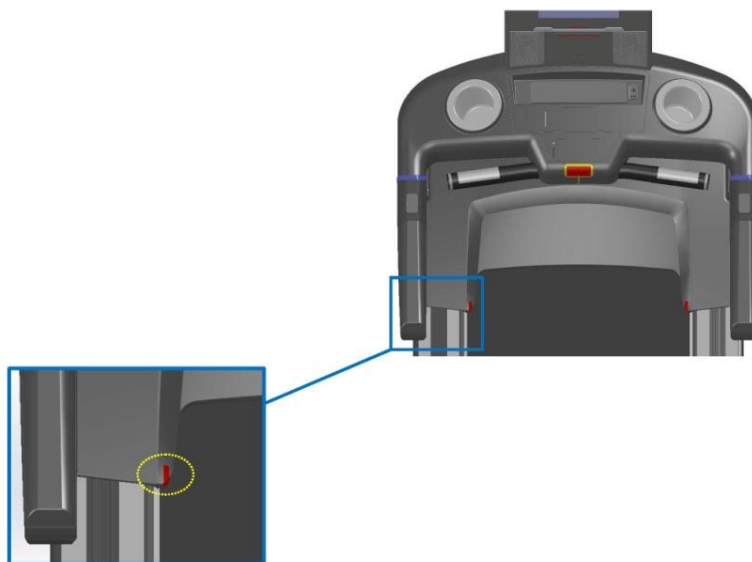
ベルトが右側に寄りすぎている場合、右側(ランニングベルトスクリューに近い側)の調整スクリューを右(時計回り)に 1/4 回転させます。調整が必要な場合は、ベルトができるだけ中心に近づくまで、さらにネジを小さく回します。

テストでベルトを低速で 8km/h まで進行させ、ベルトが真ん中にあるかどうかを確認します。

ベルトが真ん中にならない場合は、もう一度同じ手順で行ってください。

ベルトの端がモーターカバー上の両方の赤い線に収まるように調整します。ベルトの端が赤い線からはみ出したら、走行面の真ん中にくるまでベルトを調整し直す必要があります。

下記参照



トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

SRS ランニングベルトに関する注意事項

ルームランナーには、高品質で厚みのあるランニングベルトを使用しています。

新しいベルトは慣らし運転が必要です。

箱の中に保管されているため長期間使用していないので、ベルトがローラーに "セット "すると、初期ノイズやゴツゴツした音が聞こえる可能性があります。

ベルトを数時間空回転させてください。ベルトの異音は音がなくなるはずですが。

使用開始から数時間以内に位置合わせと張りを確認してください。

ベルトのほこり・糸くず・カーペットの繊維など

新品のベルトから出るベルトの粉は正常です。ベルトの黒い粉が床に落ちているのを見かけたら、その都度拭き取ってください。

汚れ・ほこり・糸くず・髪の毛・およびその他の小さな粒子により、内部および周囲の空気が流れが部分的に妨げられる可能性があります。

トレッドミルの下とその周辺は定期的に掃除してください。

トレッドミルのデッキは摩擦係数が低く、非常に滑らかです。

ただし、トレッドミルの下で吸引された粒子が、ランニングベルトとデッキの間に蓄積する可能性があります。この部分は、柔らかい布やクロスできれいに拭いてください。縁を拭きます。ベルトはもちろん、ベルトの下（デッキとベルトの間）のエリア。

柔らかい布や雑巾をベルトとデッキの間からトレッドミルを横切り、上下に 2 回ほど歩き、デッキのゴミを取り除きます。デッキのゴミを取り除くために、トレッドミルを 2 回ほど往復させます。

このメンテナンス作業を行う前に、必ずトレッドミルのプラグを抜いてください。

これを維持することで、駆動モーターやベルト、電子部品の寿命を延ばします。

これを怠ると、保証が無効になる場合があります。

トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

ベルトの潤滑油

トレッドミルには、摩擦を軽減する低摩擦のリバーシブルデッキが装備されています。トレッドミルの駆動モーターに逆らって働く力。ベルトとデッキは経年劣化します。定期的に使用すると、牽引力が増し、トレッドミルのモーターの働きが難しくなる可能性があります。これは、モーターで駆動するあらゆる機械装置に当てはまります。摩擦を最小限に抑えることで、部品の寿命を延ばすことができます。また、トレッドミルを長期間使用しないと、デッキの乾燥につながります。トレッドミルのベルトの速度がすぐに落ちてしまう場合は、シリコンが不足している可能性があります。



ベルトの注油が必要であることをダッシュボードに表示します。これは 125 マイル/200km に設定されています。これ表示されたら、ベルトに注油してください。

以下は、ベルトとデッキに正しく潤滑油を塗布するための手順です。

このメンテナンスを行う前に、トレッドミルの電源がオフになっていることを確認してください。

ベルトとデッキの潤滑

STEP 1: 前ページにあるように、デッキとベルトの間を掃除してください。

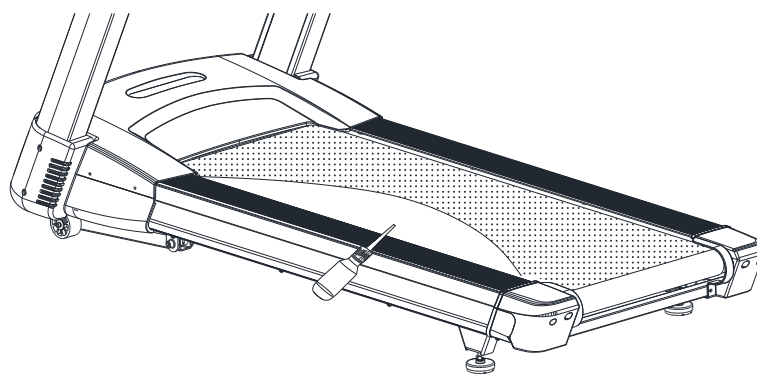
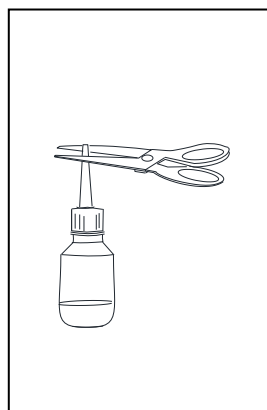
STEP 2: トレッドミルに同梱されているシリコンオイルボトルを探します。

ベルトを持ち上げ、デッキからできるだけ離して左側に持ち上げます。

シリコンボトルのノズルをベルトの下に向けて、シリコンの小さなビーズをデッキに敷き詰めます。デッキの下に移動しながら、ベルトを持ち上げるようにします。ベルトの右側も同様に行います。下記図面をご参照ください。

STEP 3: トレッドミルの電源を入れ、低速から中速で 5 分間トレッドミルの上を歩き、シリコン潤滑剤を均等に行き渡らせます。

STEP 4: STEP3 終了後、STOP ボタンを 5 秒間押して、IDLE モードに戻ります。

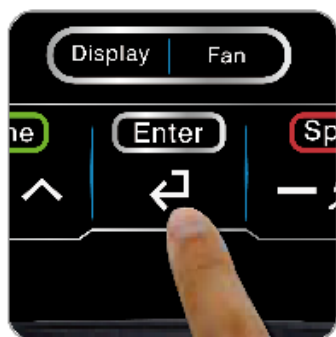


トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

潤滑油インジケータのリセット

お使いのトレッドミルには、液晶画面の左側に潤滑油インジケータがあります。工場出荷時、潤滑油インジケータは125マイル（または200キロメートル）に設定されています。つまり、トレーニングでその距離に到達すると、画面にLube Indicatorが点灯します。このような場合は、32ページの「ベルトの注油」の手順に従ってください。

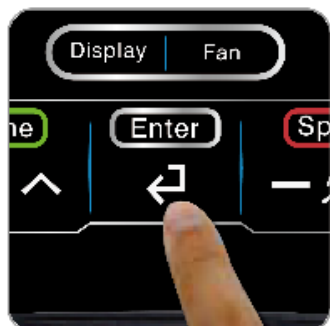
ベルトのクリーニングと潤滑が完了したら、インジケータをリセットすることができます。



Step 1: トレッドミルがアイドルモードの時にENTERを押します。LCDセグメント(画面下部のメッセージライン)にLUBEという文字が表示されます。



Step 2: INCLINE UP ボタンを押すと、125 マイル(200 キロ)にリセットされます。



Step 3: ENTERを押すと、Lubeインジケータが消え、アイドルモードに戻ります。

注：125マイル間隔は工場出荷時の設定ですが、乾燥した状況や摩擦や抵抗が大きいことを感知した場合(例えば、ワークアウト終了後にベルトが非常に早く停止する場合)には、いつでもより早くベルトに注油することが可能です。

トレッドミルの一般的なメンテナンス方法

このメンテナンス作業を行う前に、必ずトレッドミルのプラグを抜いてください。定期的にチェックすることをお勧めします。

メンテナンスの時期と部品をお勧めします						
	PARTS	DAY	WEEK	MONTH	SEASON	HALF YEAR
1	ダッシュボードベルト					Check
2	フレーム（枠）	Clean				Check
3	走行ベルト表面		Clean(Vacuum)			Check
4	電源コード			Check		
5	コンソール表面	Clean		Check		
6	手すり	Clean				Check
7	手すり用ボルト				Check	
8	フロントローラーと溝				Clean	Check
9	後方ローラー					Check
10	安全キー	Clean				
11	プーリー リブ・ベルト				Clean	Check
12	走行ベルトの張力					Check
13	操作盤					Clean(Vacuum)
14	モーターベルトの溝					Check

Clean: 運動後は、湿らせた布で製品を清潔に保ち、乾いた布で再度掃除して機械を乾燥した状態に保ってください。

Noted: ダッシュボードとコンソールを乾いた状態に保ち、ショートを防ぎます。

Storage (保管): 乾燥した清潔な環境に機器を置き、使用しないときはプラグを抜いてください。

Moving (移動): トレッドミルを移動する前に、必ず電源コードを抜いてください。

Consumables (消耗品類): ランニングベルトとデッキの表面は、長時間の運動後に摩耗して傷がつきます。

代理店にご相談いただくか、新しい走行ベルトとデッキに交換してください。

Damage (損傷): トレッドミルに破損があった場合は、必ず代理店にご連絡ください。

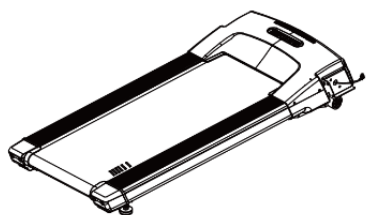
TROUBLE... WHAT TROUBLE?

よくある問題と解決

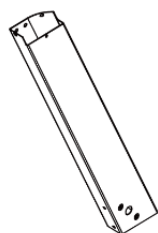
商品ご使用時に問題が生じた際は下記の内容を一度ご確認くださいませようお願いいたします。

問題点	原因と解決方法
トレッドミルのランニングベルトが停止したときストップキーマグネットを引くと、キーマグネットを引っ張ります。	ベルトとデッキの摩擦が大きいです。 本書「一般整備」の潤滑油の説明をご覧ください。 ベルトに潤滑油を塗らないと、モーターに過度のストレスと負担がかかり、保証が無効になることがあります。
モーターがベルトを駆動していないようです。ベルトを駆動していないようです(ベルトが動かない)。	QUICK START を押しても、モーターが反応しない場合(音がしない・ベルトが動かない)場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。
モーターは動いているが、ベルトが動いていない。	1. このマニュアルの一般的なメンテナンスの章にある指示に従って、ベルトの張りを確認します。 2. それでもベルトが動かない場合は、ドライブベルトの点検を行いますので、本カスタマーサービスまでご連絡ください。 ベルトの張りや位置合わせを確認してください。
ランニングベルトが中央に定まらないを中心に保てない、または歩行時や走行時に迷ったり滑ったりする。	トレッドミルが水平であることを確認し、ベルトに潤滑油が塗布されていることを確認してください。
ディスプレイ(液晶画面/モニター)が点灯しない、または一定しない。	1. ストップキーマグネットが完全に挿入されていない可能性があります。 2. 電源スイッチの横にあるブレーカーが落ちている可能性があります。サーキット ブレーカがロックされるまで押し込みます。 3. 電源コードが完全に差し込まれていない可能性があります。 4. 家庭用回路がトリップしている可能性があります。その場合は、家庭用ヒューズをよりアンペアの高いブレーカーに交換する必要があるかもしれません。
トレッドミルは、前面の 15 アンペア回路をトリップさせます。 回路が作動します。 電源スイッチの横にあります。	ベルトとデッキの摩擦が大きいため、潤滑油の塗布をお願いします。 の説明に従ってください。

部品および組み立て説明書



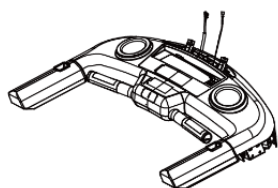
FRAME X1



LEFT UPRIGHT
TUBE X1



RIGHT UPRIGHT
TUBE X1



HANDRAILS AND CONTROL PLATFORM X1



CONSOLE X1



TWO-WAY AUDIO CABLE X1



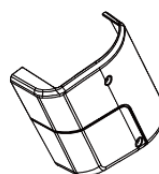
LEFT HANDLEBAR
COVER X1



RIGHT HANDLEBAR
COVER X1



LEFT UPRIGHT
TUBE COVER X1



RIGHT UPRIGHT
TUBE COVER X1



TOOL X1



M5X113L TOOL X1



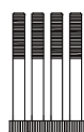
M6X191L TOOL X1



M8X15L SCREW X4



M8X20L SCREW X8



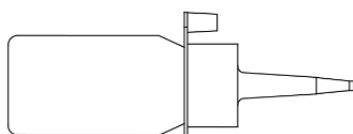
M8X70L SCREW X4



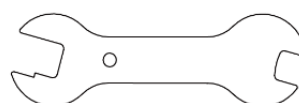
M6X35L SCREW X2



M5X12L SCREW X2



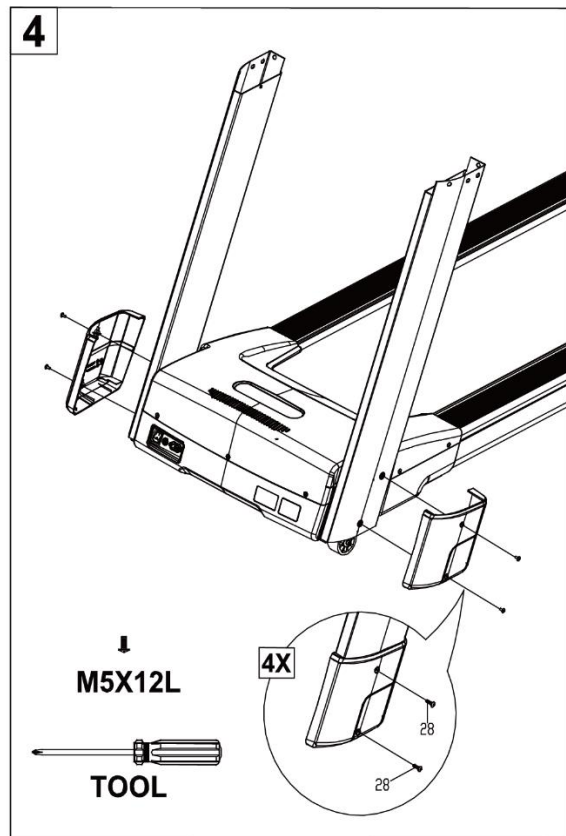
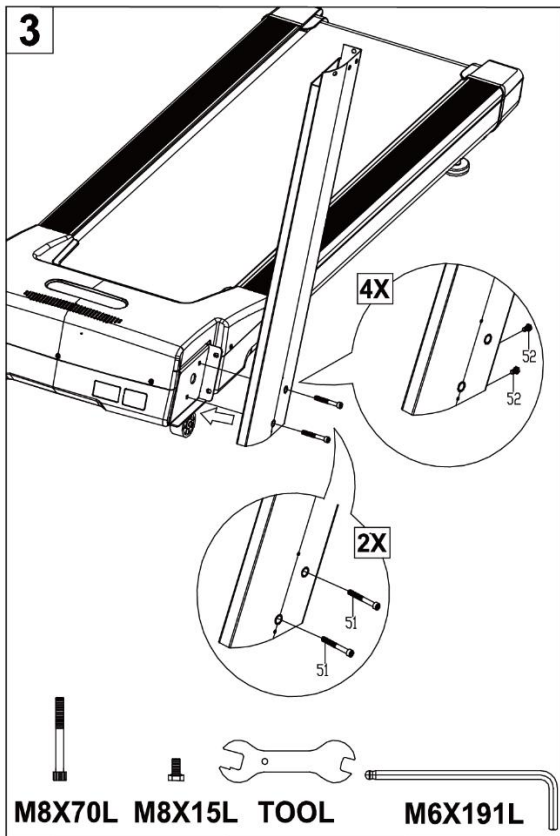
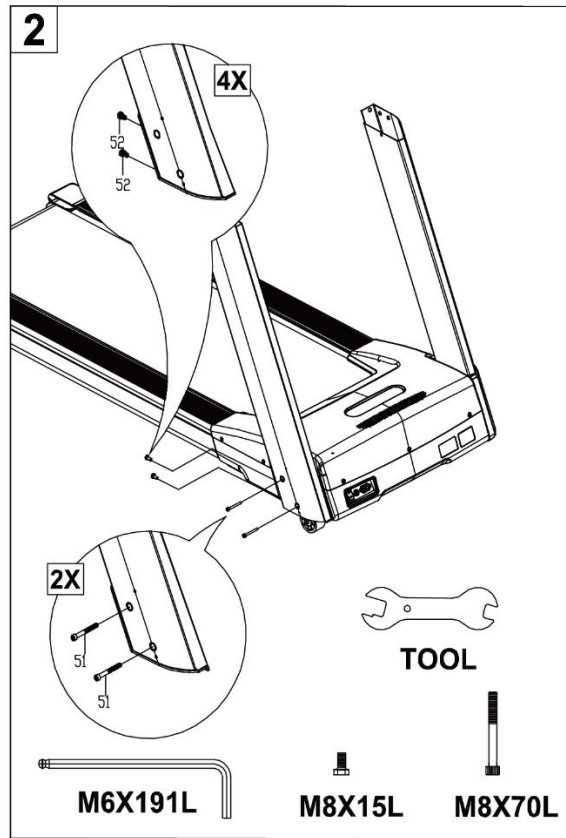
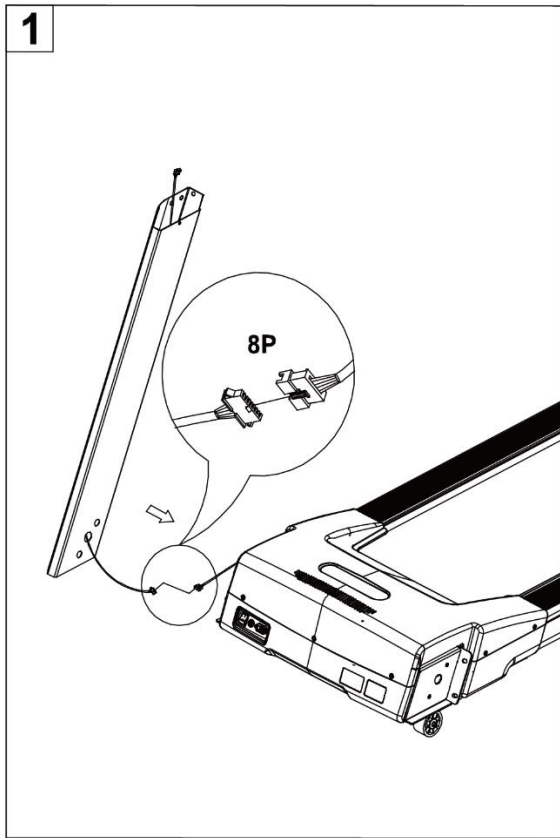
SILICON OILCAN X1



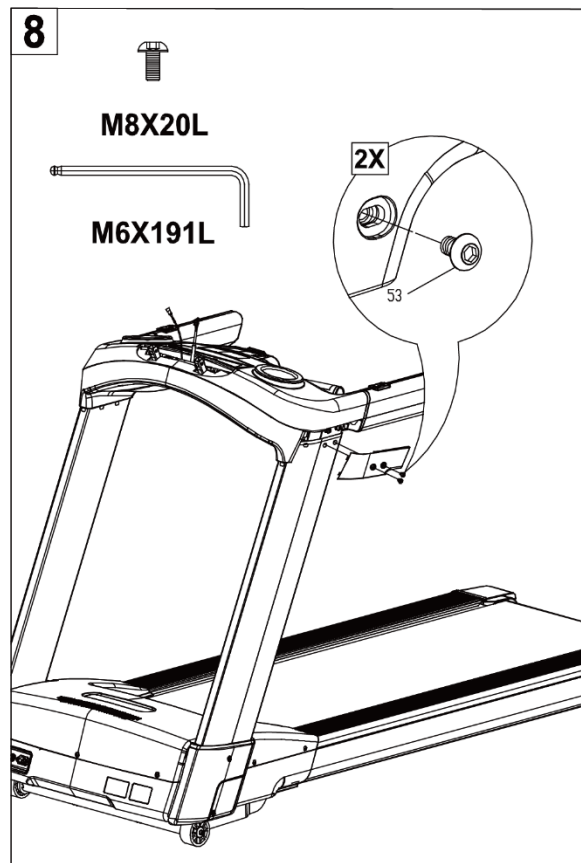
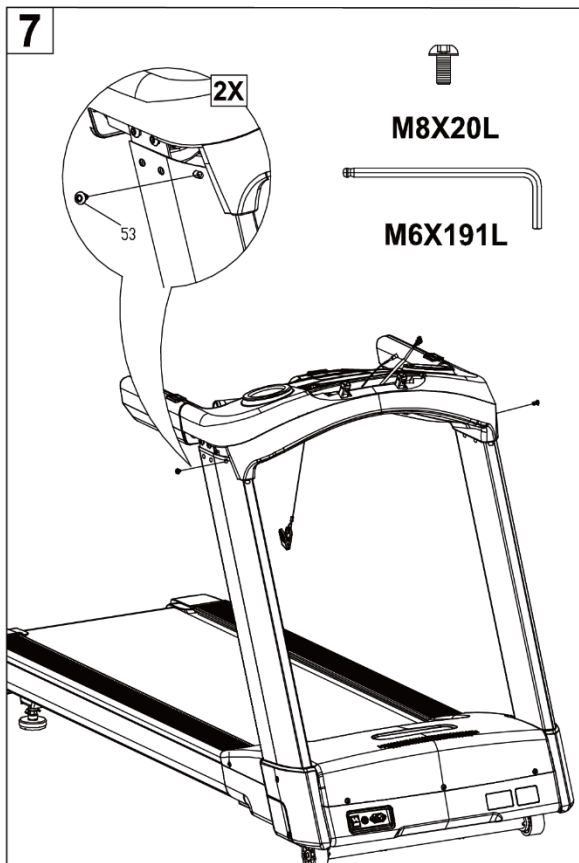
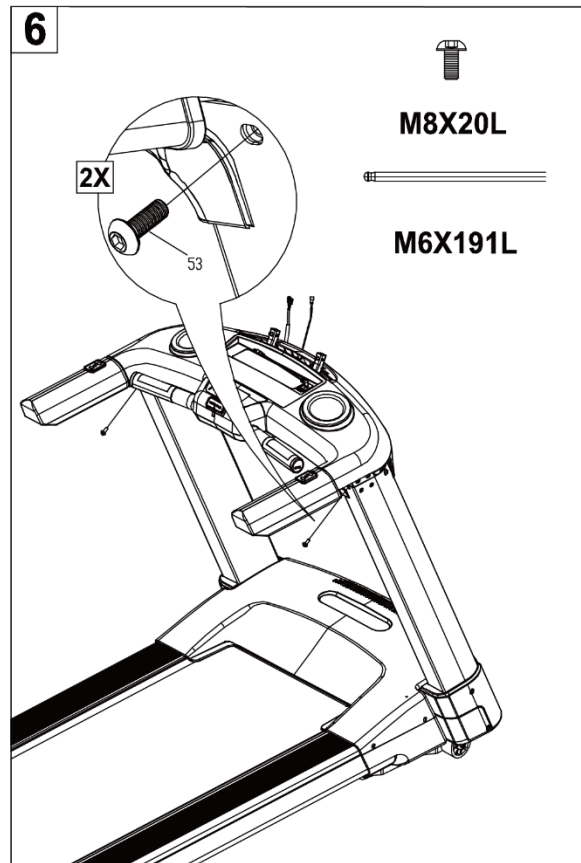
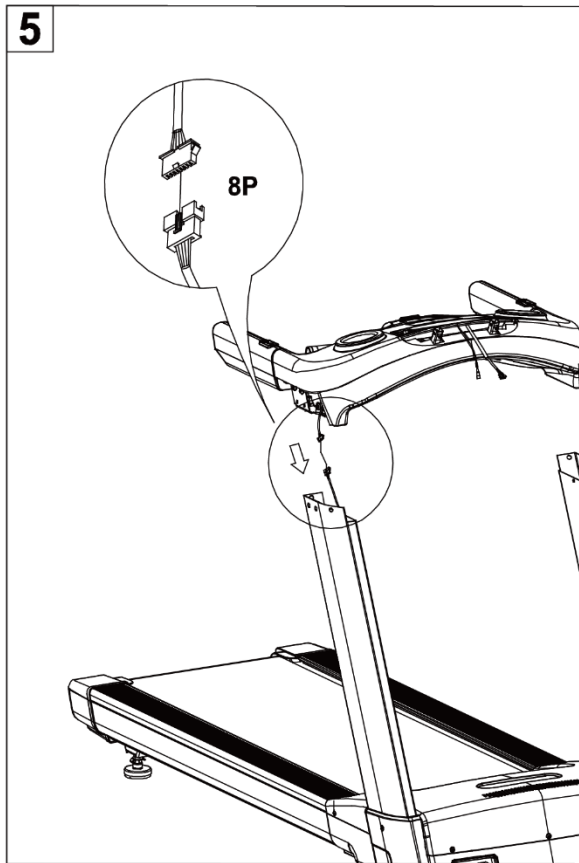
TOOL X1

部品および組み立て説明書

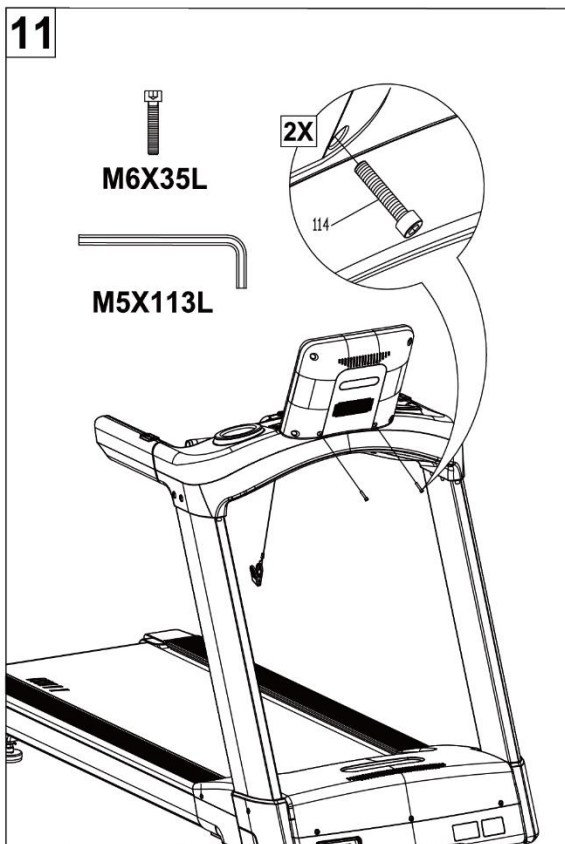
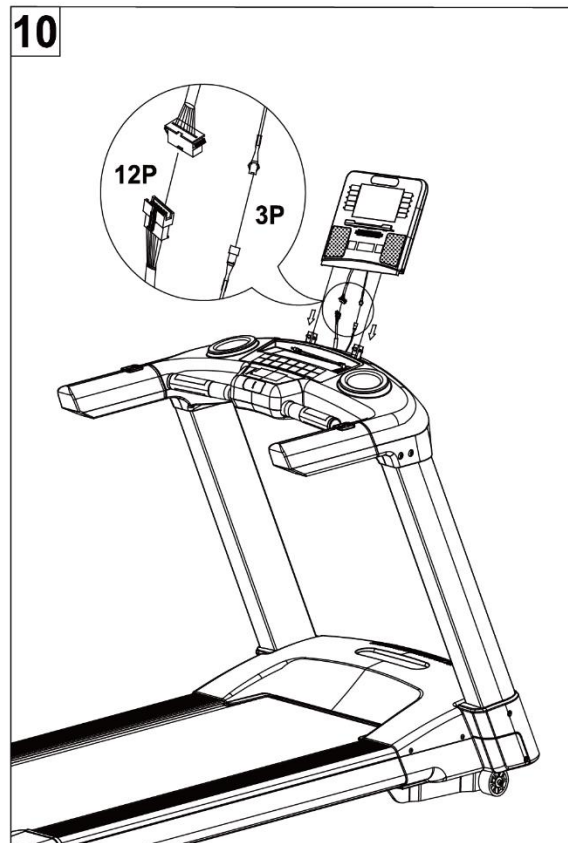
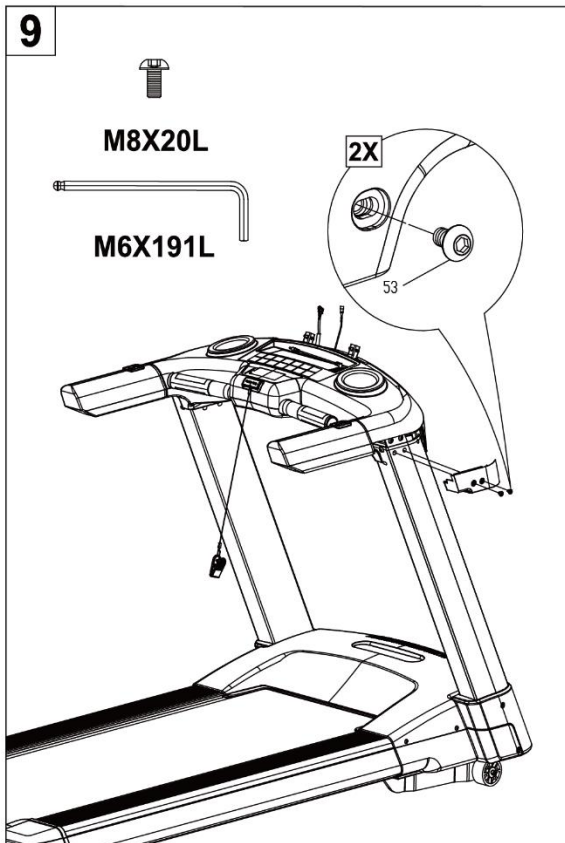
ボルトの締めすぎに十分注意してください。



部品および組み立て説明書

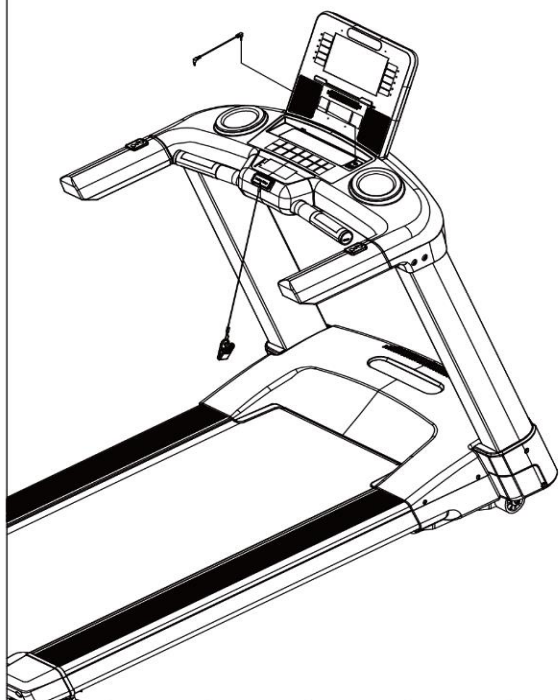


部品および組み立て説明書

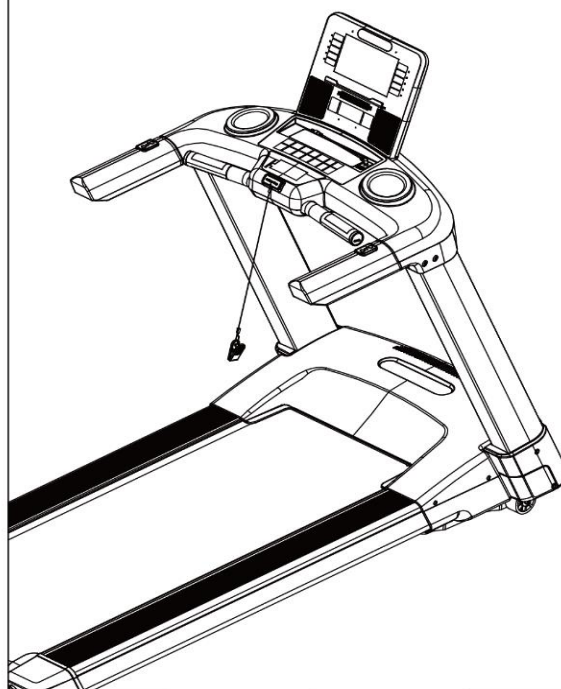


部品および組み立て説明書

13



14

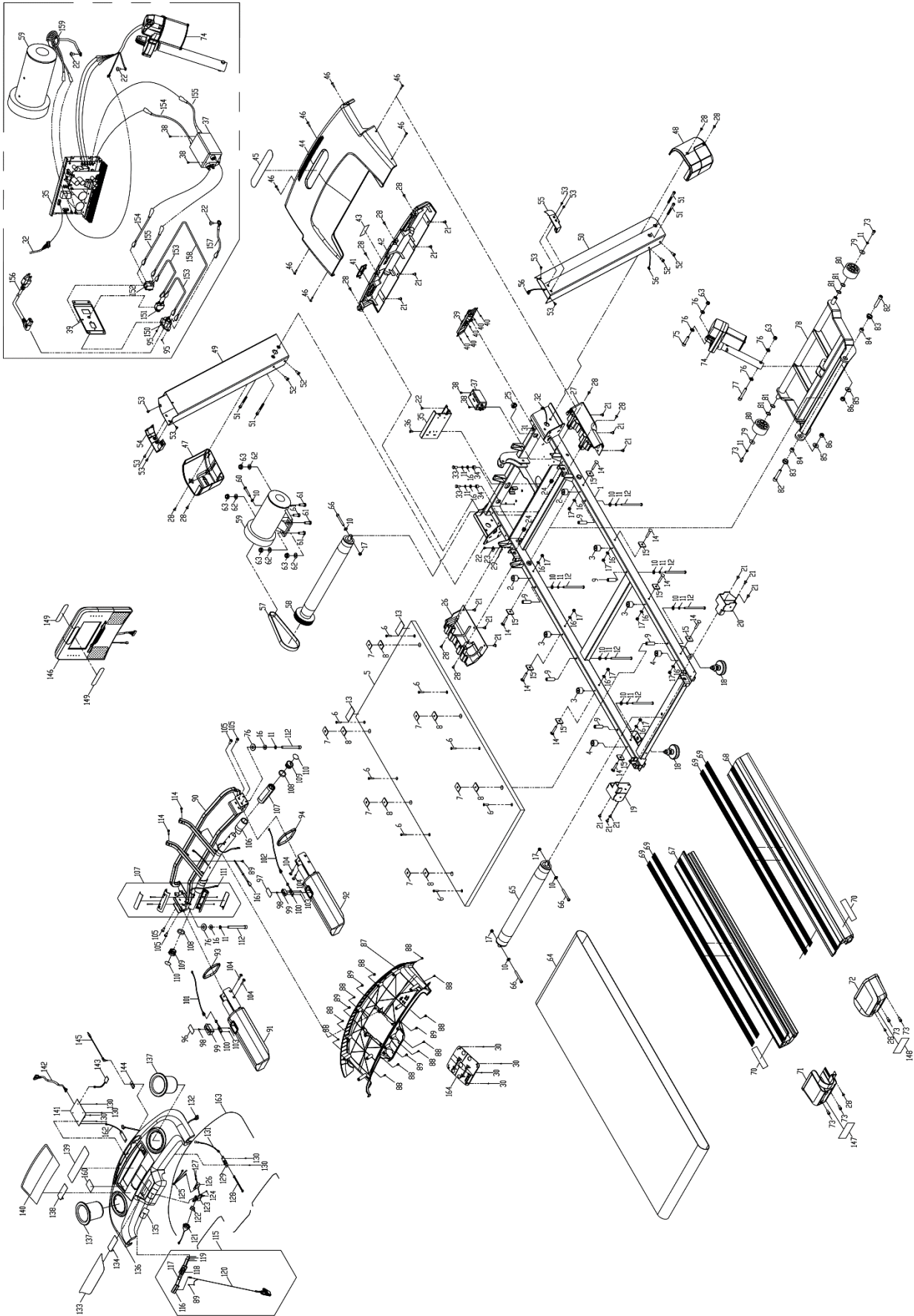


組立後にカバーなどがうまくはまっていない場合、ボルトを緩めたりして調整していただくと症状が改善する場合がございます。

また、前工程のボルトの締めすぎによる形状変形の可能性もございますのでうまくかみ合わない箇所が発生いたしましたら対象の個所のひとつ前の工程からボルトを緩めていただきますようお願い申し上げます。

部品および組み立て説明書

TTD-760A EXPLODED VIEW



部品および組み立て説明書

TTD-760A PARTS LIST					
Part #	Name	Qty	Part #	Name	Qty
1	メインフレーム(T)	1	34	モーターロケータイングブッシュ	2
2	ゴム製ワッシャー	2	35	DC コントロール	1
3	ゴム製ワッシャー	4	36	Screw M5*16L	1
4	ゴム製ワッシャー	2	37	フィルター	1
5	ランニングデッキ	1	38	Screw M4*8L	2
6	ネジ M6*30L	8	39	電源ホルダー	1
7	Side support lock piece	6	40	Screw M4*12L	5
8	サイドサポートプレート	6	41	TV 電源シートカバー	1
9	サイドサポートスリーブ	6	42	モーター前面カバー	1
10	Flat Washer M8*18*2.0	10	43	電気ラベル	1
11	スプリングフラットワッシャー (M8)	12	44	モーターカバー上部	1
12	Screw M8*123L	6	45	ステッカー	1
13	フォーム	2	46	Screw M5*25L	7
14	Screw M8*50L	8	47	左側アップライトポストカバー	1
15	サイドフットレール固定	8	48	右側アップライトポストカバー	1
16	フラットワッシャー M8*16*1.2	12	49	左アップライトポスト (T)	1
17	金属製ナット M8	11	50	右アップライトポスト (T)	1
18	フットグライドの調整	2	51	Screw M8*70L	4
19	左側リアカバーシート	1	52	Screw M8*15L	4
20	右側リアカバーシート	1	53	Screw M8*20L	8
21	Screw M6*12L	16	54	コンピューター左カバー	1
22	Screw M5*10L	5	55	コンピューター左カバー右カバー	1
23	スピードセンサーブラケット	1	56	コンピューターケーブル 中間	1
24	スナップブッシング SB-14	2	57	プーリーリブベルト	1
25	スナップブッシング SB-25	1	58	前面走行ベルトローラー	1
26	コンピューターケーブル - 下	1	59	DCモーター	1
27	右側モーターカバー	1	60	Screw M8*55L	1
28	Screw M5*12L	14	61	Screw M10*30L	4
29	Sensing line 850L	1	62	フラットワッシャー M10*25*2.5	4
30	Screw M4*12L	4	63	ナイロン製ロックナット M10	6
31	接地タグ	1	64	ランニングベルト	1
32	コンピューターケーブル - 下	1	65	リアランニングベルトローラー	1
33	Screw M6*20L	2	66	Screw M8*70L	3

部品および組み立て説明書

Part #	Name	Qty	Part #	Name	Qty
67	左側レール	1	100	アームボタン基盤	2
68	右側レール	1	101	接続ケーブルの外側の手すり	1
69	アルミニウム製レール	4	102	接続ケーブルの外側の手すり	1
70	ステッカー	2	103	Screw M2.3*6L	4
71	左側レールカバー (rear)	1	104	Screw M6*35L	4
72	右側レールカバー (rear)	1	105	Screw Ø8*M6*18.5L	4
73	Screw M8*16L	6	106	ハンド・グリップ	2
74	電動傾斜モーター	1	107	手指の脈拍センサー	2
75	Screw M10*50L	1	108	アルミニウム製カバー	2
76	フラットワッシャー M10*21*2.0	6	109	ハンドパルスカバー	2
77	Screw M10*70L	1	110	ステッカー	2
78	昇降フレーム (T)	1	111	手脈センサーワイヤー	1
79	フラットワッシャー M8*28*1.5	2	112	Screw M8*100L	2
80	260E 補助輪	2	113	N/V	
81	ウェーブワッシャー 18.6*24*0.3T	4	114	Screw M6*35L	2
82	Screw M12*62L	2	115	安全キー	1
83	粉末冶金25*19*11L(SAE841)	2	116	安全キー - 上部 (Red)	1
84	インクライン用フレームロックシャフトブッシュ	2	117	安全キー 板	1
85	フラットワッシャー M12*30*3.0t	2	118	安全キー アッパー (Yellow)	1
86	ナイロン製ロックナット M12	2	119	Screw M2*5L	4
87	コンピューターカバー 底面	1	120	安全キークリップ + 綿紐	1
88	Screw M4*15L	11	121	機械式金庫の鍵	1
89	Screw M5*12L	6	122	発砲スチロール	2
90	トップコンソールサポート&ハンドルバー	1	123	安全キーラック	1
91	左フォームアーム	1	124	Screw M3*8L	2
92	右フォームアーム	1	125	安全キー限界スイッチ用ケーブル	1
93	左腕用装飾リング	1	126	安全キー限界スイッチ	1
94	右腕用装飾リング	1	127	Screw M3*16L	2
95	Screw M3*10L	2	128	USB接続ケーブル	1
96	アームボタンガイド/傾斜	1	129	USB+ヘッドセット基板	1
97	アームボタンガイド/スピード	1	130	Screw M2.6*8L	6
98	Screw M4*20L	2	131	イヤホンプラグ-男性	1
99	サイドアームレストボタンシェル	2	132	コンピューターケーブル 上部	1

部品および組み立て説明書

Part #	Name	Qty	Part #	Name	Qty
133	名札	1	149	ステッカー	2
134	ボタンフィルム	1	150	電源ケトルコンセント	1
135	安全キーステッカー	1	151	サーキットブレーカーモジュール	1
136	コンピューターカバー 上部	1	152	On/Off ロッカースイッチ	1
137	水筒ホルダー	2	153	ケーブルの接続 (Black)	2
138	ボタンフィルム	1	154	ケーブルの接続 (Red)	2
139	滑り止めステッカー	1	155	ケーブルの接続 (Black)	2
140	名札	1	156	電源ケーブル	1
141	ブレイクアウトボード	1	157	ケーブル接続-アース端子	1
142	コンソールケーブル アッパー	1	158	せつぞくケーブル (赤)	1
143	レシーバー内蔵	1	159	フェライト磁心	1
144	USB マーク	1	160	警告ラベル	1
145	Mp3 オーディオケーブル	1	161	ケーブル接続-アース端子	1
146	家庭用ゲーム機	1	162	帯電防止板/250L(4P)	1
147	ステッカー	1	163	塩化ビニル樹脂ストリップ	1
148	ステッカー	1	164	カバーのメンテナンス	1